



Kyriba

CFO の展望 2026年

小売業

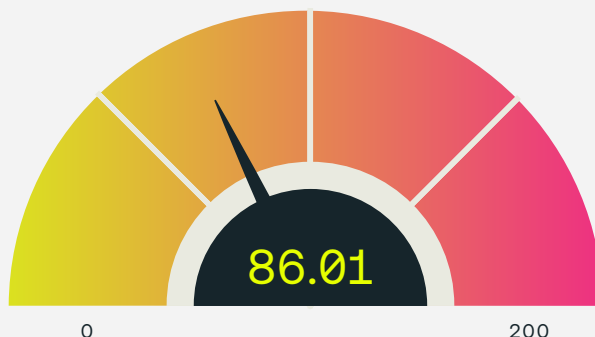
慎重な見通し：
政情不安、関税、人材不足、インフレ圧力

OPR 60-89 慎重ゾーン

CFOは複合的な圧力で手綱を締める状況。
自信を強化する最短ルート：

- ・流動性の可視化を強化
- ・予測の更新頻度を引き上げ
- ・データ基盤を高度化

Kyriba OPRインデックススコア



慎重

警戒感が高いが全体は安定

AI活用の急伸

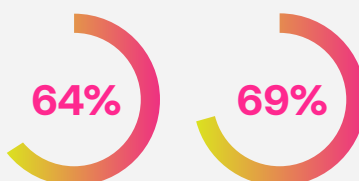
95% がAIを導入中

71% がセキュリティ/プライバシーを懸念

意欲と信頼のギャップが顕在化

圧力下でも前進するイノベーション

イノベーションの主な障壁



リアルタイム可視性が不十分 システム統合が未完了

成長目標がデータ基盤の成熟度を上回る

リスクインテリジェント・パフォーマンス

リスク管理の主な戦術

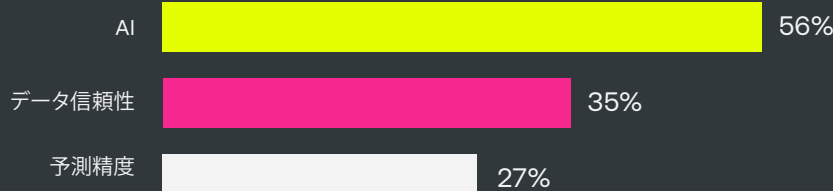
56% AIドリブン分析を導入

44% 予測の更新頻度を増加

37% 財務系ソフトウェアの拡張/機能追加

外部圧力がデジタルトランスフォーメーションを加速

2026年の主要な業務優先事項



データソース

年間売上高5億ドル以上の企業のCFO 1,400名を対象に、8カ国でグローバル調査を実施（2025年9月に実施）。

OPRインデックスについて

KyribaのOPRインデックスは、楽観性（Optimism）、備え（Preparedness）、リスク（Risk）に焦点を当てた、CFOの信頼度をデータ主導で可視化します。

詳細はこちら [→](#)